

庁議の概要

開催日 平成 30 年 2 月 6 日（火）

◎項 目

- 1 平成 29 年度高知県職員のストレスチェックの結果について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内 容

- 1 平成 29 年度高知県職員のストレスチェックの結果について【総務部】

総務部より、平成 29 年度高知県職員のストレスチェックの結果について報告があった。

（総務部）

メンタルヘルス不調を未然に防止する取り組みとして、昨年 8 月 14 日～20 日にかけて、知事部局、労働委員会事務局、収用委員会事務局の非常勤職員を含む職員 3,656 人を対象としたストレスチェックを実施した。

その結果、平成 28 年度に比べ、職員のストレス度に若干の改善が見られた。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局等による概要説明が行われた。

<主な協議の概要>

○ 庁内の働き方改革について

（総務部）

電子県庁の推進による行政の効率化について、本庁と出先機関を結ぶ Web 会議システムの導入に必要な経費を、平成 30 年度当初予算に計上する予定。効率的な運用ができる出先機関を検討したところ、福祉保健所が最も旅費の節減効果が大きいことから、導入するよう調整を進めたい。

また、2 月 5 日より本庁舎の 3 階に、出先機関の職員が所属へ戻らずとも業務を行うことができるサテライトオフィスを開設しているので、積極的な活用を促してもらいたい。

職場ドックについて、今年度は過去最多数の取り組み事例の報告があった。2 月 8 日の実践報告会において、優秀事例を発表していただくので、担当職員の出席に配慮してほしい。

○ 新・農業人フェアについて

（農業振興部）

2 月 10 日に池袋サンシャインシティで開催される新・農業人フェアにおいて、県内の 13 市町村等がブース出展を行い、産地提案書による新規就農者の募集を行う。

（知事）

2 月 5 日の対話と実行行脚では、産地提案書について興味を持たれる方が多くおら

れた。個別に開拓しても良いかもしれない。

(農業振興部)

産地提案書については、まだまだ数が不足していると認識しており、市町村の意向を伺って対応していきたい。

○ 知事からの話

予算について、県民の皆様にはわかり易くお示しすることは極めて大事なことである。記者発表等の資料はわかり易く伝えるための資料でなければならない。予算要求時に作成した資料をそのまま使用するのではなく、どういうことをやろうとしているのか、県民の皆様には伝わらなければいけないことを特に心がけてもらいたい。